

### (3) 地域における食育の推進

住民に身近な市町村・地域での食育の推進のためには、様々な団体や関係者が協働して取り組む必要がありますが、関係者の連携のための市町村食育推進計画の策定が進んでいません。

また、伝統行事や郷土料理、行事食をはじめとする食文化を次の世代に伝承したり、食農体験農場等体験の場づくりなどについても、地域には食育において重要な役割があります。

#### ① 五感を活性化する食農体験の場づくりの推進

(具体例)・食農体験農場の開設推進【再掲】

#### ② 食育を推進する人材の育成

(具体例)・食農教育サポーター(仮称)養成講座の開講とサポーターの登録【再掲】

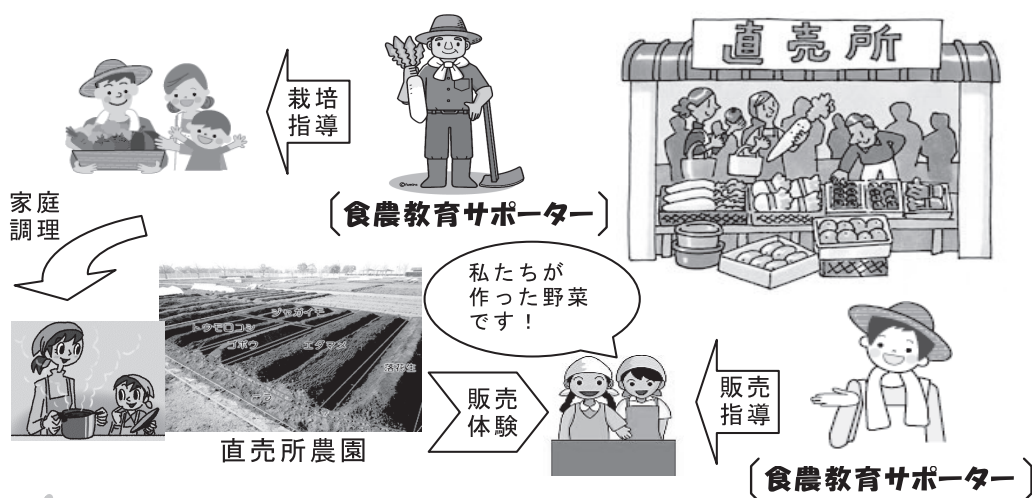
- ・特定給食施設等従事者講習会の開催
- ・食育指導者向け研修会の実施
- ・食生活改善推進員活動の支援【再掲】

#### ③ 学校や福祉施設などの給食での地産地消の推進

(具体例)・生産者と学校や福祉施設を結ぶコーディネーターの育成

- ・「たんとおあがり京都府産」認定施設の取組(P.23参照)
- ・特定給食施設等巡回指導・従事者講習会の開講

【食農体験農場と食農教育サポーター イメージ図】



- ④ 食生活改善推進員や生活研究グループ等が行う郷土料理・行事食の料理教室等の活動の推進
- (具体例)・食生活改善推進員や生活研究グループ等による親子料理教室【再掲】
  - ・食品関連団体と消費者団体の連携による親子での和菓子作り等体験教室【再掲】
- ⑤ きょうと食育ネットワーク会員の連携による食育の推進
- (具体例)・食育講演会の開催【再掲】
  - ・スーパーマーケットでの「きょうと食育キャンペーン」の実施による食育に関心の薄い層への啓発【再掲】
  - ・農林水産フェスティバルやSKYふれあいフェスティバルでの食生活相談等の実施【再掲】
  - ・食品関係事業者等と連携した地元産物を活用したレシピ作成【再掲】
- ⑥ 生産者と消費者との生産現場での意見交換等交流の促進
- (具体例)・きょうと食の安心・安全フォーラムの開催 (P. 23参照)
  - ・食品関連団体と消費者団体の連携による親子での和菓子作り等体験教室【再掲】
  - ・京都府農林水産技術センターによる「農林漁業と食の府民講座」の開講【再掲】
- ⑦ 食の安心・安全についての関係機関と連携した情報提供
- (具体例)・「きょうと食の安心・安全情報」や「きょうと食の耳より情報」等メールマガジンの配信
  - ・食情報提供店への加入促進
- ⑧ 社会福祉団体、商店街、流通事業者等と連携した調理実習体験や買い物弱者支援
- (具体例)・商店街、商工会等による御用聞き【再掲】
  - ・流通業者による宅配【再掲】
  - ・大学生による買い物代行、随行【再掲】
- ⑨ 優良事例の紹介及び取組の拡大
- (具体例)・きょうと食育事例集の作成
  - ・「食に関する指導」実践事例集の作成
  - ・関係機関・団体が一体となった取組推進のための食育・地産地消推進協議会(仮称)の設置推進
  - ・市町村食育推進計画の策定支援

【「たんとおあがり京都府産」認定施設の取組】

福祉施設などでも地産地消に取り組んでいます。地元産野菜の活用に加え、大きな魚を数人で取り分けて家庭的な雰囲気です卓を囲むなどの工夫もされています。



【生産者・製造者と消費者の交流】

「きょうと食の安心・安全フォーラム」を開催するなど、豆腐やかまぼこなどの製造事業者が、衛生管理に十分留意して食品加工を行っていることを消費者に説明して、正しい理解を広めるよう努めています。



[数値目標]

取 組	現 状 (H21年度実績値)	目 標 (H27年度)
食農体験農場の数	0箇所	20箇所以上
食農教育サポーター(仮称)の数	0人	100人以上
食育の推進に関わるボランティアの数	4500人	5000人以上
食情報提供店の店舗数	460店	800店以上
食育推進計画作成市町村の割合	23% (6市町)	100% (26市町村)